

世界中の“みたま”をまつる

みろく殿



神社や寺院、教会などそれぞれの宗教には、独自にお参りする礼拝施設があり、各施設内には目的別に複数の礼拝所が建てられていることが一般的です。

今回は大本の聖地、綾部市梅松苑にある礼拝神殿の一つで、国の登録有形文化財にも指定されている「みろく殿」をご紹介します。



みろく博士



JR 京都駅から綾部駅まで
特急で約 1 時間
綾部駅から徒歩で約 15 分



京都縦貫道 京丹波わち IC から約 15 分
京都縦貫道 京丹波みずほ IC から約 20 分
舞鶴若狭自動車道 綾部 IC から約 5 分
(一般道で京都から約 80 分)



みろく殿は
みろく博士の
お家です。



大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町 1-1 梅松苑
／ TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 〃 TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44
／ TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>

<連絡先>





万霊社

大神さま

祖霊社



お参りの作法は、
大本いろは No.2 を
見てね♪

万霊社では、一揃一揃一揃手で
「万霊拝詞」を奏上します。

日本をはじめ世界各地で起こる戦
争や災害、不慮の事件・事故で亡く
なった「みたま」を、大本本部が斎
主となりおまつりしています。

万霊社

祖霊社では、一揃一揃一揃手で
「祖霊拝詞」を奏上します。

祖霊社では、神さまのご守護のも
と、大本信徒の先祖の霊魂を神式で
手厚くおまつりしています。

祖霊社

大神さまは、一揃一揃一揃四拍手で
「天津祝詞」を奏上します。

みろく殿内には、大宇宙の創造主
神・大天主太神（大神さま）を中央
におまつりしています。

大神さま



大本二代教主 出口すみこ

全国のみなのまにそろふなり
綾の聖地にみろく殿建つ

みろく殿は、京都府綾部市・梅松
苑（No.13 参照）にあります。
殿内には、「祖霊殿」として、大本
信徒の先祖をまつる「祖霊社」や、
戦争や災害など、不慮の事件や事故
の犠牲となった世界の多くの「みた
ま」をおまつりする「万霊社」があり、
日々祭祀が厳かに営まれています。
当初、みろく殿は戦後の昭和28年
4月、出口すみこ大本二代教主の発
意で、大神さまをお祭りする神殿と
して完成しました。
平成4年に新しい神殿「長生殿」
が完成するまでの40年間、聖地・梅
松苑の中心の神殿として、さまざま
な歴史的祭典や行事が執行されてき
ました。

みろく殿



宗教史に残る

共同礼拝式

みろく殿では、昭和52（1977）
年、米国聖公会（キリスト教）と
の共同礼拝式が行われました。（写
真左）

全く異なる宗教の礼拝式が、合
同で行われることは、それまでの
宗教史の上からも、珍しいことで
した。

共同礼拝式に参列した当時の有
識者からは、「聖なる冒険」と高
く評価されました。



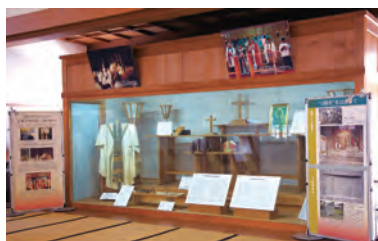
大本歴史資料展示コーナー

明治25（1892）年2月3日の開教から、現在
に至るまでの大本のあゆみをパネル、模型で展
示しています。



エписコパルコーナー

上記の共同礼拝式で使用された祭具や、米国聖
公会から大本との友好の証として贈呈された貴
重な式服などが展示・保存されています。



（平成26年4月25日
登録第26-0452号）

みろく殿は社寺建築を
基調とした789畳敷き
の壮大な建物です。鉄骨
材と木材を巧みに組み合
わせて建てられており、
「物資不足の昭和20年代
に良く工夫された大建築
物」との評価を受け、国
の登録有形文化財として
指定されています。

